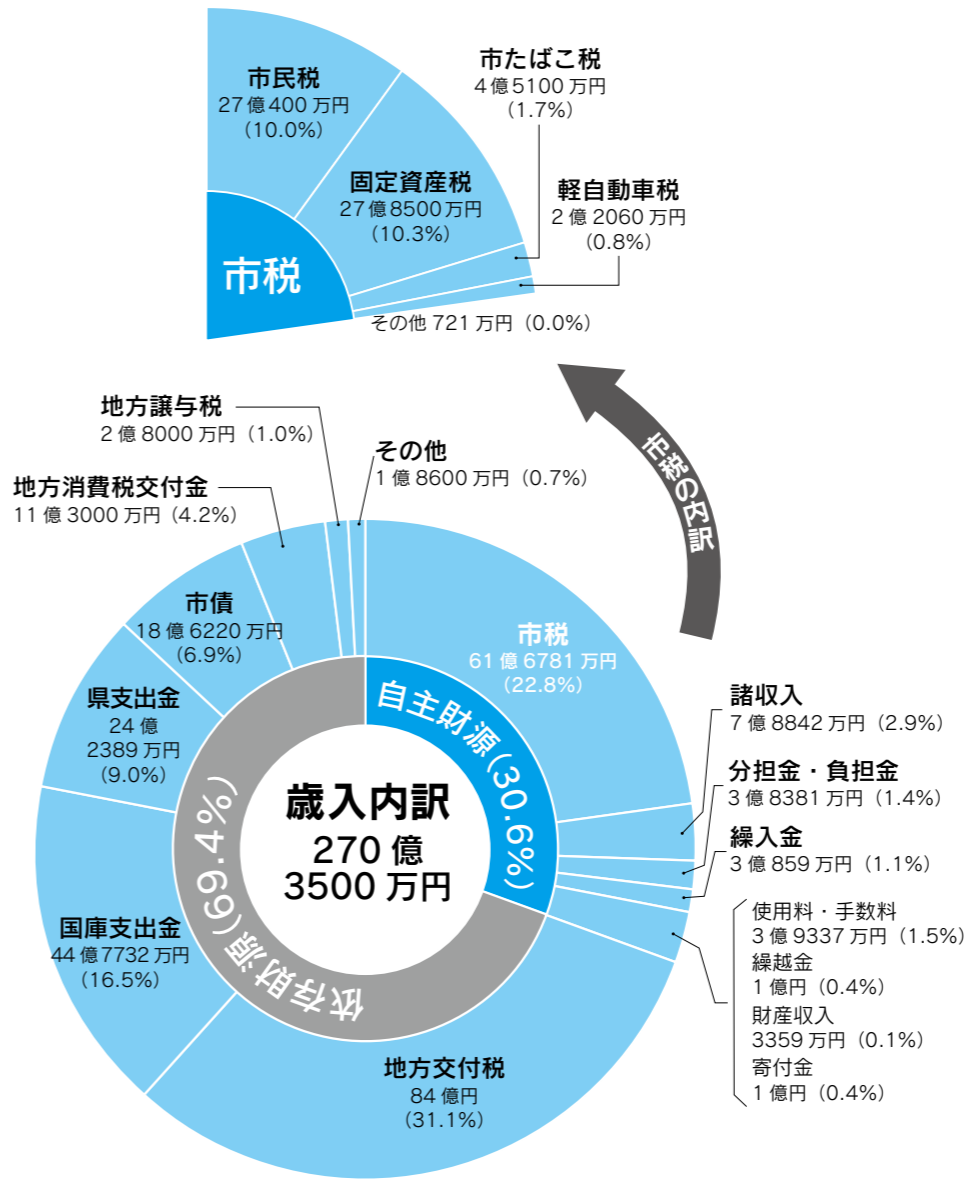


平成29年度一般会計当初予算は市長選挙のため骨格予算として編成 270億3500万円を計上

平成29年度の市一般会計当初予算が3月の市議会定例会で可決、成立しました。予算総額は歳入、歳出いずれも270億3500万円、前年度に比べ、15億3100万円、率にして5.4%の減額となりました。

【問】市財政課財政係(☎77・8432)



4月16日に市長選挙が行われる予定のため、経常的経費を中心に、次期市長の政策判断が必要な新規の施策を計上しない、いわゆる「骨格予算」として編成しました。ただし、緊急性が高く、福祉や市民生活に影響が出ると思われるものについては、新規事業であっても計上しています。

当初予算で計上していない事業については、今後、必要に応じて補正予算に計上します。

歳入

市税
前年度の収納見込みなどを勘案し、前年度より1970万円増の61億6781万円を計上しています。

地方交付税
前年度より2億5000万円減の84億円を計上しています。

市債
中学校空調設備設置事業が終了したこと、柳川駅東部土地区画整理事業や柳河・城内地区都市再生整備事業などが最終年度となり、事業費が減額となったことなどにより、前年度より5億2420万円少ない18億6220万円を計上しています。このうち、合併した市町村に限り特例として認められる合併特例事業債は、6億3000万円です。

歳出

目的別
民生費
自立支援給付の利用者の増加や、新制度移行幼稚園の教育の対象となる児童の増加などにより、前年度より6015万円増の116億5318万円を計上しています。

教育費
昭代第一小学校校舎大規模改修事業、藤吉小学校運動場改修事業、児童や生徒の学力向上のための経費などを計上したものの、各中学校への空調施設整備が終了したことなどにより、前年度より3億2603万円減の22億1020万円を計上しています。

衛生費
みやま市と共同で建設を進めている新火葬施設の整備に係る負担金、空き家対策の一環として実施する特定空家等解体工事にかかる経費などにより、前年度より1億8243万円増の21億7397万円を計上しています。

義務的経費
義務的経費は4億1117万円減の153億8081万円を計上しています。

目的別
民生費
子ども医療費、保育所運営費が増加したものの、臨時福祉給付金給付事業が終了したことなどにより、304万円減の76億2万円を計上しています。

人件費
一般職員人件費が増加したことなどにより653万円増の48億8267万円を計上しています。

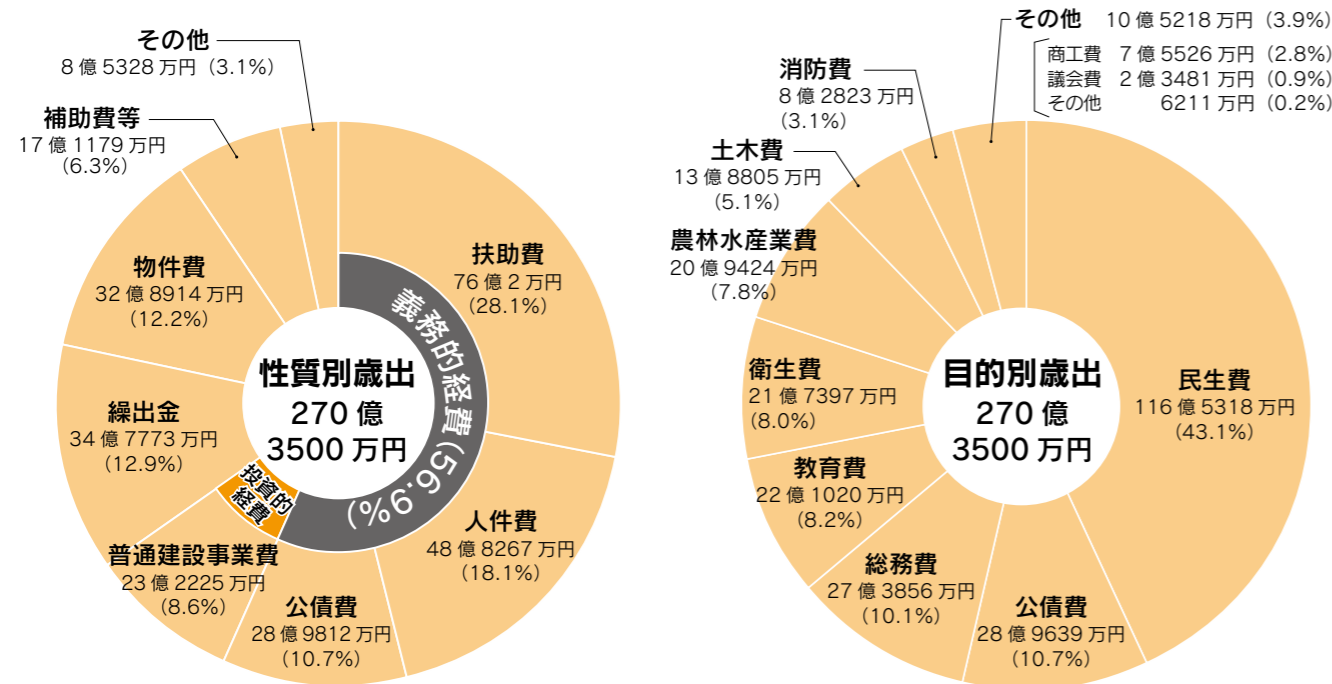
公債費
昨年度繰上償還を実施したため4億1466万円減の28億9812万円を計上しています。

普通建設事業費
柳川駅東部土地区画整理事業や柳河・城内地区都市再生整備事業が減額となったことや骨格予算として編成したことなどにより、9億9691万円減の23億2225万円を計上しています。

繰入金
県介護保険広域連合負担金の増加などにより、1297万円増の34億773万円を計上しています。

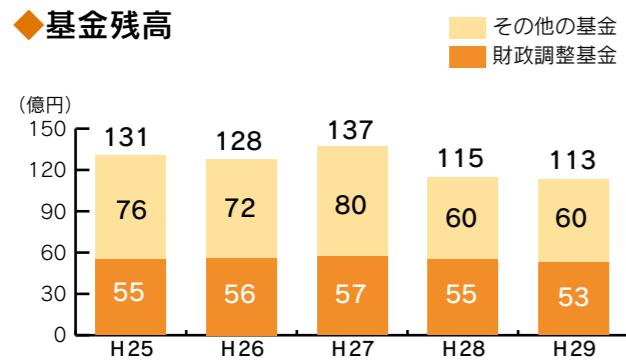
用語解説

- 【歳入】**
- ▽自主財源 市税や諸収入など、市が自力で集めるお金
 - ▽依存財源 国や県の意思で定められた額の交付や割り当てられて入るお金
 - ▽地方交付税 標準的な行財政運営に必要な経費を補うために国から交付されるお金
 - ▽国庫支出金 事業など特定の目的の費用として、国や県から交付されるお金
 - ▽市債 大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金
- 【歳出】**
- ▽民生費 高齢者や障害者、子育て、生活保護などに使うお金
 - ▽公債費 市債の返済のために使うお金
 - ▽総務費 課税徴収や市民窓口、選挙などに使うお金
 - ▽教育費 学校や生涯学習施設、文化事業などに使うお金
 - ▽衛生費 健康診断や予防接種、ごみ処理などに使うお金
 - ▽農林水産業費 農業や水産業振興などに使うお金
 - ▽土木費 道路整備や区画整理などに使うお金
 - ▽消防費 消防活動、消防施設の整備などに使うお金
 - ▽商工費 商工業や観光事業などに使うお金
 - ▽議会費 議員報酬や議会運営に使うお金
 - ▽扶助費 生活保護法や児童福祉法、老人福祉法などの法令で被扶助者に支給するお金
 - ▽普通建設事業費 道路や水路、学校などの公共施設の整備などに使うお金
 - ▽繰入金 一般会計と特別会計など会計相互間で支出されるお金
 - ▽物件費 市が行う行政サービスの中で効果が短期間のもので、旅費、需用費、役員費などのような消費的性質のお金
 - ▽義務的経費 経常的に支出が義務付けられ、任意に削減することができないお金

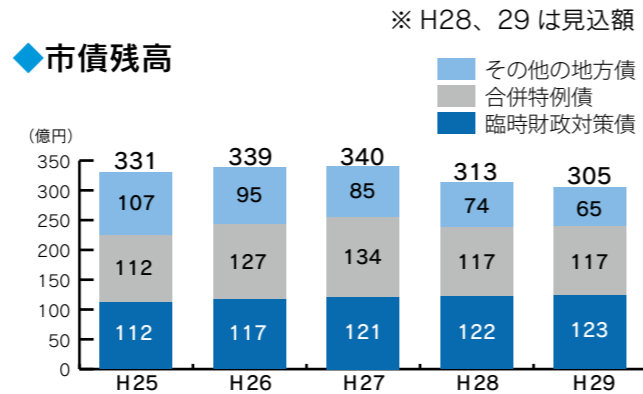


基金・市債残高の推移（一般会計）

◆基金残高



◆市債残高



合併特例債は9事業に

合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、6億3000万円を借り入れ、排水路整備事業や道路整備事業など次の9事業に活用する予定です。この合併特例事業債は70%が地方交付税として交付される有利な地方債です。

(合併特例事業債)		(合併特例事業債)	
▷新火葬施設整備等事業	1億7940万円	▷柳河・城内地区都市再生整備事業	2620万円
▷排水路整備事業	1億60万円	▷密集住宅市街地整備事業	600万円
▷漁港整備事業	1990万円	▷昭代第一小学校校舎大規模改修事業	4450万円
▷道路整備事業	1億7690万円	▷藤吉小学校運動場改修事業	2410万円
▷柳川駅東部土地区画整理事業	5240万円		

特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入、歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には5つの特別会計と水道事業会計があり、それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1万円未満四捨五入）は次のとおりです。

特別会計	予算額	内容
国民健康保険特別会計	105億5800万円	自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計。【主な歳入】国民健康保険税18億3271万円、国庫支出金24億3468万円【主な歳出】医療や出産育児一時金などの保険給付費61億8019万円、後期高齢者支援金等9億8708万円、共同事業拠出金27億790万円
後期高齢者医療特別会計	10億3300万円	75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、市内の全市町村が加入している県後期高齢者医療広域連合で実施。【主な歳入】保険料6億7842万円、一般会計からの繰入金3億4914万円【主な歳出】同連合に支払う納付金10億398万円
下水道事業特別会計	11億1714万円	【主な歳入】利用者からの使用料1億5900万円、一般会計からの繰入金5億円、国庫支出金1億2592万円、市債2億6590万円【主な歳出】事業費や維持管理費を含む下水道費5億6799万円、公債費4億9846万円
住宅新築資金等特別会計	63.2万円	住宅新築資金等の貸付事業は終了。現在は、貸付金の回収事務、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を実施
公共用地先行取得等特別会計	0.5万円	公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計。活用に備えて歳入、歳出とも5000円だけを計上
水道事業会計 【企業会計】	収益的収入	14億3963万円
	収益的支出	14億1327万円
	資本的収入	1億9850万円
	資本的支出	5億3395万円

今年度の主な事業

◆産業の振興

▷農地・水保全対策事業費=1億8180万円▷活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金=9757万円▷農業水利施設保全対策事業負担金=4825万円▷協業団地推進費=2億7762万円▷中小企業者等融資預託金=4億円▷柳川観光の未来を担うマルチプレイヤー育成事業費=1267万円▷地域DMOによる滞在力強化事業費=842万円▷観光バスツアーへの助成による滞在力強化事業費=600万円

◆教育・福祉の充実

▷昭代第一小学校校舎大規模改修事業費=6740万円▷藤吉小学校運動場改修事業費=3348万円▷教育委員会ネットワーク管理事業費=1020万円▷大和共同調理場搬入道路舗装工事費=850万円▷生活保護費（扶助費）=16億3000万円▷自立支援給付費（介護給付費等）=13億433万円▷認定こども園運営等事業費=3億3547万円▷学童保育事業費=1億479万円▷地域福祉計画等策定事業費=800万円▷こども医療費=2億823万円

◆社会基盤の整備

▷高橋中牟田線道路整備事業費=1億3328万円▷塩塚川高潮対策番所橋架替事業費=3004万円▷公共下水道繰入金=5億円▷柳川駅東部土地区画整理事業費=1億1624万円▷柳河・城内地区都市再生整備事業費=4756万円▷密集住宅市街地整備事業費=2369万円

※太字は新規事業

◆健康づくり・生活環境の保全

▷予防接種事業費=1億8000万円▷健康診査がん検診事業費=5114万円▷新火葬場整備事業費=2億4285万円▷小型合併処理浄化槽設置事業補助金=1億3997万円▷柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事業費=1億8045万円▷クリーンセンター維持補修工事費=1億3050万円

◆その他

▷ふるさと寄付金推進費=6695万円▷基幹系電算システム更新事業=1億4000万円▷柳川庁舎カウンター改修事業費=330万円▷柳川庁舎耐震補強事業費=3290万円▷市長選挙費=1933万円▷消防自動車購入費=2430万円



【柳川庁舎カウンター改修事業費】昨年度、福祉課と子育て支援課のカウンターを座って手続きができるよう改修。今年度は健康づくり課のカウンターを改修予定

予算を「家計」に例えると…

市の予算と家計では、お金の使い道が異なるため単純に比べられませんが、予算額を10万分の1の「27万円」として、1か月の家計簿に置き換えてみました。

■収入（かっこ内は予算科目）

- ▷給与
 - 基本給（市税、使用料など）……………7万4000円
 - 諸手当（地方交付税など）……………8万9000円
- ▷親からの仕送り（国庫補助金など）…8万5000円
- ▷銀行からの借入（市債）……………1万8000円
- ▷預金の取り崩し（繰入金）……………3000円
- ▷前年度の残金（繰越金）……………1000円

■支出（かっこ内は予算科目）

- ▷食費（人件費）……………4万9000円
- ▷医療費、保育料など（扶助費）……………7万6000円
- ▷水道光熱費、物品購入費用（物件費）…3万3000円
- ▷家や車などの修理、電気製品などの購入費用（維持補修費、投資的経費）……………2万4000円
- ▷家族への仕送り、自治会費など（繰入金、補助費等）……………5万2000円
- ▷借入金の返済（公債費）……………2万9000円
- ▷友達に貸すお金（貸付金）……………4000円
- ▷雑費（その他）……………3000円